

とよおか

平成30年度
第4号

日光市立
豊岡中学校

日光市 芹沼
1958番地
0288-21-8215
発行責任者
校長 上吉 原明夫

古都 奈良・京都を友と歩く 3年修学旅行

保護者の皆さんにとって、ご自分の修学旅行の一番の思い出は何ですか。私の場合、旅館の大部屋(あの頃は10人以上がひと部屋だった)で、友人と枕投げをして叱られたことや、新幹線の中で友と語り合ったことなどです。どこを見学したというより、友と過ごした時間がかけがえのないものとして残っています。

6月28日からの3日間、修学旅行で奈良、京都(宿泊地は滋賀県)に行ってきました。1日目は、法隆寺や薬師寺、東大寺などの奈良方面をまわり、2日目は京都市内で班別活動、3日目はクラスごとの体験活動(1組は浴衣体験、2組は扇子の絵付け体験でした)と清水寺の見学という、盛りだくさんの3日間でした。また宿泊地である滋賀県大津市のホテル「こゆう」では、



- 意見発表者**
- 1年1組 M. Fさん 「助けを必要としている人のために」
 - 1年2組 Y. Aさん 「違いから学んだこと」
 - 2年1組 K. Yさん 「命の大切さ」
 - 2年2組 M. Yさん 「私を支えた母の言葉」
 - 3年1組 S. Mさん 「現代社会で生きていくために」
 - 3年2組 E. Yさん 「これから生きていくために」

それぞれの発表

自分を主張することの大切さ 校内意見発表会

7月5日、校内意見発表会を開催しました。これは自分たちが最近思っていることを、国語の時間に生徒全員に書かせ、その中から学級代表を1名決め、全生徒の前で発表するというものです。



8月の少年の主張 代表としてK. Yさんが参加することになりました。がんばってください。

左の写真は登校後の下駄箱の様子です。かかとがきちんとそろっています。掃除の間、外階段を毎日のようにブラシで磨いてくれています。職員室では、毎日板のすき間のごみを、針のようなものできれいにしてくれています。



あたりまえのことができる

左の写真は登校後の下駄箱の様子です。かかとがきちんとそろっています。掃除の間、外階段を毎日のようにブラシで磨いてくれています。職員室では、毎日板のすき間のごみを、針のようなものできれいにしてくれています。

コラム

成長ということ

最近家で「元気がない」とか、イライラしているというお子さんはいませんか。それは成長期の一事象であり、過性のものが多いです。

幼児期や小学生の頃は、自分の視点が内側にあり、いわゆる自己中心的なものです。中学生になると、視点が自分の外側になり、他と自分の違いを認識してきます。そんなとき自分に自信がなくなったり、他を信じられなくなったりします。これは自分を客観的に見つめはじめている証拠です。高校生ぐらいになると、自分を冷静に見つめるようになり、他との違いを認めることができるようになります。

ただ怖いのは、そこに他の悪意が入ってしまうことです。仲間はずれや悪口など、これは間違いなくいじめです。我々教職員にとって、早急に手を打たなくてはならないことです。もしそのような様子が見られたら、すぐに学校にご連絡ください。そのような様子がない場合、あなたは間違えていないよ。とてもいい子だよ。」と励ましてあげてください。そのときは反抗的でも、必ず通り抜けてくれるはずですよ。

特集 授業が変わる！その1

主体的・対話的で深い学び

皆さんは、学習指導要領というのをご存じですか。学校で何を学ぶかというものを示したものです。我々教職員はこれをもとに授業などを進めています。10年に一度見直され、今回は平成33年度(小学校では32年度)全面实施となります。どのように変わるのか、いくつかキーワードがありますので、順次説明していきたいと思えます。

第一回目の今回は、主体的・対話的で深い学びです。何を学ぶかを示したのが学習指導要領であると書きましたが、今回の要領では、どのように学ぶか」が初めて記述されました。現代社会において、学校で得た知識や技能はすぐに古いものになつてしまします。よって自ら進んで学んでいくなくてはなりません。そのためには興味関心に裏打ちされた「主体的な学び」が必要で、他から情報をもらい自分なりに解釈していく「対話的な学び」も必要です。そうしていくことによって、深く理解し、他に活用できる「深い学び」につながっていきます。



授業はこれまで、黒板とチョークと教師の話による、いわゆる知識の伝達の授業が多かったように思います。だから今、完全実施に向けて、教師が教える授業ではなく、生徒が学ぶ授業への転換を図っているところ。保護者の皆様が授業参観に来て、私の教わった頃の授業と違う」と思っていたら第一段階クリアです。今後にもさらに「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指して、取り組んでいきたいと思つています。

今 本当にスマホが危ない！ 親子情報モラル教室

7月10日、WEBカウンセリング協議会理事長安川雅史様による親子情報モラル教室「スマートフォンの危険性」の講演を聞いて、ゾッとしたのは私だけではないでしょう。ある女子大学生がSNSにアップした、サークルの何人かがスパーで踊っただけの動画、もちろん迷惑行為であることは間違いないのですが、その女子大生の実名や過去、家族のプライバシーまでも暴露され、父親は会社に行けず、また引越越しを余儀なくされ、家族は崩壊寸前だそうです。投稿している人は、なんて迷惑なことをするんだ」と一見正義を振りかざしているように見えますが、実は悪意の塊です。

簡単な操作で多くのことができるスマホ、なんて便利な機械でしょう。しかしそれは

性について学ぶ 3年 性に関する指導

7月13日に、獨協医科大学助産師 藤岡容子様による性に関する授業を開催しました。これは昨年度の2年生を対象に3月に予定していたものですが、インフルエンザによる学級閉鎖のため今回になったものです。

性について考えよう！自分を大切にするために」というテーマで、思春期の話や生命の誕生、男女の性差、異性とのつきあい方、性感染症などについて、紙芝居などを用いてわかりやすく説明してくださいました。また妊婦体験をしたり、実際の体重



確実に不特定多数の人とつながっているし、そこには、多くの悪意が存在するのです。教師として「人を信じるな」と指導するのは残念なことですが、匿名性の高いネット社会においては、絶対信じるべきではありません。顔の見えない、声も聞かえないコミュニケーションは、本当のコミュニケーションではありません。

子どもだけでなく、大人も同じです。ぜひ親子で、スマホについて本気で話し合ってみませんか。

抱っこしたりと、いろいろな体験も交えたためになる講演会でした。生徒たちも今の時期から、しっかりと性に向き合ってほしいと思つています。

夏休みだからこそ

明日から夏休みが始まります。学年、学級だよりや保健だより等で、夏休みの注意事項などをお知らせしているかと思えます。そこで私からはたった一言。自分を律してほしい。」ということ。夏休みは自由な時間がたくさんあります。誘惑もあります。怠ける気ならばいつでも怠けられます。そこで自分を律してほしいのです。朝寝坊したくないなと思つてがんばって起きる。勉強したくないなと思つてもきちんとやる。まだまだ時間があるからと思つても今やる。それが自分を律することです。

これから大人になつていくにあたって、一番大切なことだと私は思います。自分を律し、よい夏休みにしてください。

